



DBK だより

発展途上国援助・ドンボスコ基金

2011 年 12 月 22 日 第 8 号

発行人:チプリアニ・アルド

友人、恩人の皆様

二〇一一年の終わりにあたり、
ごあいさつ申し上げます。

今年は大変な一年でした。
ニュージーランドの地震に始まり、東日本大震災、
タイの洪水、トル
コの大地震と、災
害がたて続けに起
こりました。東日
本大震災の爪あと
はいまだに深く、
原発による放射能
の危機も続いてい
ます。このような
状況にあって、今
年の漢字にも選ば
れた「絆」の大切さと、助け合
うことのうちに人間の本来の姿
があることを再確認できました。



皆さん、ありがとう！
2012 年は恵みの年でありますように！

に、創立者であるドン・ボスコ
についてより深く知ろうとして
います。

ドン・ボスコを知るには、彼
が育んだ若者との「絆」を見る
必要があります。トリノにペス
トが流行したとき、ドン・ボス
コに助けら
れていた若
者たちは、
ドン・ボス
コの呼びか
けに応えて
病人を看病
してまわり
ました。ド
ン・ボスコ
は若者を救
うと同時に、

人に救いの手を差し伸べること
のできる若者を育成したのです。
不思議なことに、ドン・ボスコ
の呼びかけに応じて苦しむ人び
とを見舞った若者たちは、誰一
人として病にかかることはありません
でした。ドン・ボスコは、

産業革命の犠牲となった若者た
ちにほほ笑みが戻るように、い
つも共にいて彼らを力づけまし
た。

幼子イエスの降誕を祝う日
が、もうすぐ訪れます。イエス
が誕生してまもなく、東方から
三人の博士が没薬、乳香、黄金
の贈り物をたずさえて聖家族を
訪れました。私たちも、私たち
の援助を必要とする人びとのう
ちに、貧しいうまやに生まれた
イエス様を見つめることができ
るでしょう。その人びとのため、
私たちが三人の博士となれたら、
本当のクリスマスを迎えたと言
えるのではないのでしょうか。

皆様の寛大な支援を心より感
謝しつつ、良いクリスマスと新
年を迎えられますよう、お祈り
申し上げます。

二〇一一年十二月二十二日
代表

チプリアニ・アルド神父

アルゼンチンのマテウ市 「愛の奇跡」

三年前、DBK だより創刊号で支援をお願いしたアルゼンチン、ブエノスアイレス近郊のマテウ市のイエスのカリタス会の働きについてうれしい報告がありました。シスター方と現地の協力者の皆さんの活動の様子を、ラーリ・ペレス氏が電話で以下のように伝えてくれました。



マテウ市の貧しい地区は、激しい貧困の中、その日を生き残ろう

とする人々のさまざまな犯罪が横行しています。未来への希望がなく絶望を紛らわすために麻薬に走る人々。何も変わらないというあきらめが蔓延していました。

ある日、誰も足を踏み入れる勇気のないこの地区に、「イエスの愛」が三人の修道女の姿でやって来ました。国籍の違う三人、スペイン語がうまく話せるのは一人だけ。三人のシスターの勇気は、バリオのギャングの言葉を借りれば「火薬」となって多くの人の協力を呼び、その火は燃え広がっています。

衣類、食料、日用品、医薬品を提供する人、車で動いてくれる人、病気の人や身寄りのないお年寄り、路上生活の子どもたちの世話に一緒に励む人。シスターの滞在・活動のための書類の準備を手伝ったりアドバイスしてくれる人。善意の手を差し伸べる地元のさまざまな組織の支援を頂きながら、シスターの管理のもとで「無料食堂」が開かれ、毎日一二〇〜一五〇人の子どもたち



が来ています。パン屋、肉屋、スーパーや小さな店の店主たちが食材を提供、料理・皿洗い・掃除にボランティアが活躍しています。学校へ行っていない子どもたちの勉強を見てくれる定年退職した教師、踊りや歌を通して文化を教え、喜びを広める人。

若者や子どもに関わりながら、衛生面などの生活習慣や言葉など生活態度を優しく導く人々のおかげで、石を投げる手は折り紙を折る手に、みだらな歌を歌っていた口はクリスマス・キャロルや賛美歌を歌うようになっていま

す。人々の心には思いやりが育まれ、四、五人しかいなかった日曜日の礼拝は、参列者の多さに聖堂が狭くなってしまいました。

この数年で起きたこのような変化に、私たちは大いに喜び、神様に感謝を捧げずにはいられません。合わせて一千万円以上にのぼる支援を下さった日本の皆様の犠牲を伴う寛大な助けとお祈りのおかげで、ここマテウの地区では「奇跡」が起きています。このような変化は皆様のおかげで可能になりました。皆様も本当に喜んでいただきたいのです。ありがとうございます。



ボリビアより感謝!

今年三月に、日本は東日本大震災という想像を絶する悲劇に見舞われ、全世界から支援の手が差し伸べられています。家族や友人を亡くし、生活の糧、ふるさとを失った方々への兄弟愛があふれ出しました。

ボリビアでは、住む所のない人々、生まれてすぐ捨てられ、親を知らない子どもたち、大変な貧困の状態に暮らす人々のため、DBKの皆様の支援が希望の光を運んでいます。新生児千人中五十四名が亡くなり、四人に一人の子どもが小学校を卒業できない、国民四人に一人が栄養不足の状態という貧しさです。

この厳しい環境にある子ども



たちのため、サレジオ会は貧しい地域に学校を建て、小学校や幼稚園を運営しています。DBKの支援金はその建設費用に充てられています。また、毎月二十俵（一俵四十六キロ）の米をサレジオ会と悲しみの聖母会（男子修道会）の養護施設に届けています。

今年もボリビアの貧しい人々、特に子どもたちのために小さな愛のわざを行うことができました。尊い愛の支援と祈りを捧げてくださる皆様に感謝とともに、心から主のご降誕と新年のご挨拶を申し上げます。

今年もまた、術後の眼の治療のため、十二月八日から二〇一二年二月十六日まで一時帰国しています。

連絡先は左記のとおりです。

携帯電話 090-7716-4111

FAX 03-3353-7190

〒160-0011 東京都新宿区若葉

1-22-12 サレジオ会管区長館

倉橋輝信 神父

南スーダン

「二〇〇校プロジェクト」

日本で働いた後、一九六〇年代に韓国へ派遣され、その後「最も貧しい子どもたち」に奉仕したいと願い出て一九八〇年代スーダンへ渡り、同地で活躍しているドナーティ神父から手紙が届きました。ここに紹介します。

最近南スーダンは独立国となりましたが、人々は生活に必要なものや、教育に事欠いていました。職を求めて北に移住していた人々が南に戻る現象が起こり、人口が急激に増えています。

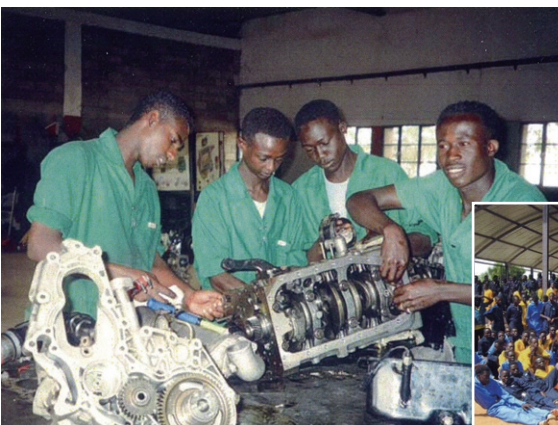
学校が少ないため、サレジオ会はまず簡単な造りで小学校を一〇〇校を建てたいと考えています。この「二〇〇校プロジェクト」に協力をお願いしたいのです。総額二億円でまかなえる予定です。

日本の皆さんは最近の大震災で大きな苦しみを経験されましたが、勇気をもって知恵と助け合いによって試練に立ち向かって

おられます。私は神様と、皆さんの寛大なお心に信頼します。

私は八十四歳で片足が悪く、手も震えています。最後までアフリカの子どもたちのために働きたいと願っており、この思いは私を幸せにしてくれます。皆さんのためにお祈り致します。

ヴィンチェンツォ・ドナーティ神父



夢の場所、 ドン・ボスコ・テテレ

ドン・ボスコ農業訓練校と王であるキリスト・テテレ教会、それは他の島の方には夢と憧れの場所、地元の方々にとっては自慢の場所です。

ドン・ボスコ農業訓練校は綺麗で、整理整頓され、周りにいつも花が咲いています。構内に木の実がなっていますが、盗まれません。ヤギや牛、アヒルなどのびのびと暮らす学校です。この学校に憧れて年に百人程の若者たちが来て訓練を受けますが、二年後の卒業時にはその半分位しか卒業証書を受け取れません。



ドン・ボスコ学校では、「Three H」を若者たちに勧めます。村では自由気ままに生きていた若者たち、畑仕事はしても、時間や能率に無

頓着でした。ドン・ボスコで教えられる「Hard Work よく働く」は、彼らにとって新しい生活スタイルです。Hard Work の精神を身につけた若者は、第二の「H」、Health 健康を目指します。男子生徒の大部分は村でタバコやアルコール、大麻などを経験しています。ドン・ボスコでは、古い習慣を絶たなければなりません。そして、憧れのドン・ボスコTシャツの制服を着、半分の仲間たちがHard WorkとHealthを達成できず退学した中、残った学生に威張る気持ちが生れます。それでも、負けずに乗り越えた学生たちです。この時点から生徒たちは第三の「H」、Humble 謙遜を目指します。

今年三十八名の若者たちがHard Work; Health; Humble の賞を受け、ドン・ボスコの精神を着て、村に戻ることができました。

テテレ教会は、地元の方にとって必要な場所となっていました。今年の初めに子ども広場が、そして今年の終わりにルルドの洞窟が出来ました。子ども広

場にはシーソーやぶらんこ、ロープウェイ、滑り台などがあります。ガダルカナル島で初めてのミニ遊



園地なので、毎日のように子どもたちが教会に出入りしています。おかげで日曜学校の人数も増えました。

ルルドの洞窟には水の蛇口があり、いつでも水を汲むことができます。川水を飲んでいた地元の方はここに水を汲みに来るようになりました。水を汲むときにマリア様に挨拶し、恩人の皆さんに感謝します。

こぼれ話・ルルドが出来て以来、私は水の祝福を頼まれなくなりました。人々は洞窟から出た水はマリア様が祝福してくれるので、司祭の祝福以上に恵みがあると思っています。これも彼らの純粋な生きた信仰でしょう。

ラップ神父

DBK だより 第8号

2011 年 12 月 22 日

発行人:チプリアニ・アルド
発行所:サレジオ管区本部
〒160-0011 東京都新宿区若葉1-22-12
Tel:03-3353-8355 Fax:03-3353-7190
dbk-gia@donboscojp.org

ご寄付くださる方は以下にお振り込みください。

郵便振替 口座番号

00100-4-560725

加入者名

発展途上国援助・ドンボスコ基金

